

一般講演

6月5日(木)

【情報】

- 14:20 1M01 標本情報システム e-Specimen @ e-Foram Stock
○佐々木 理(東北大・博)・岩下智洋(ホワイトラビット)
- 14:30 1M02 北大植物園・博物館の資料データベースとその課題
-大学博物館データベースに求められる情報-
加藤 克(北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園)
- 14:40 1M03 松本達郎名誉教授寄贈の地質学・古生物学関係文献
松隈明彦(九州大学総合研究博物館)
- 14:50 1M04 サイエンスミュージアムネットを通じた標本情報の流通
井上 透(国立科学博物館)
- 15:00 1M05 阪大総合学術博物館 DB システムについて(2)
豊田二郎(大阪大学総合学術博物館)

【教育】

- 15:10 1M06 大学博物館における学生教育の可能性
湯浅万紀子(北海道大学総合博物館)
- 15:20 1M07 大学博物館における学生によるコミュニケーション・イベントの意義
○田中嘉寛(北海道大学理学院)・湯浅万紀子(北海道大学総合博物館)
- 15:30 1M08 大学院授業による展示評価と改善
-来館者調査から提言まで-
○寺林暁良・山田祥子・前田雅樹・ロスリン アン・エレナ クラーク・佐々木 亨(北海道大学大学院文学研究科)・湯浅万紀子(北海道大学総合博物館)

15:40～16:00 休憩

- 16:00 1M09 東北大学総合学術博物館の体験活動-1
-原石採集から石器作りまで-
柳田俊雄(東北大学総合学術博物館)
- 16:10 1M10 大学博物館展示と来館者をつなげる教育補助ツールの開発と効果
-骨格標本室セルフガイド及び親子 De クエスチョンの事例から-
○清水麻記・平井康之・南 博文・河野 央・三島美佐子(九州大学ユーザーサイエンス機構・久留米工業大学・九州大学総合研究博物館)

【展示】

- 16:20 1M11 広島大学総合博物館におけるサテライト展示の展開と課題
○岡橋秀典・清水則雄・石川菜央・橋本知佳(広島大学総合博物館)
- 16:30 1M12 「広島大学総合博物館におけるエコミュージアム化の試みー「発見の小径」を事例として」
○清水則雄・石川菜央・橋本知佳・岡橋秀典(広島大学総合博物館)

16:40～17:50 ポスターセッション

6月6日(金)

【マネジメント・その他】

- 09:00 2M01 岩手大学ミュージアム学の実践
○岡田幸助、宮本 裕、藤田公仁子、藁谷 収、竹原明秀（岩手大学ミュージアム）
- 09:10 2M02 九州大学総合研究博物館利用した実践的研究 — 研究紹介—
○三島美佐子・清水麻記・平井康之・中西哲也・南博文（九州大学）

【展示】

- 09:20 2M03 大学博物館と自治体博物館の連携について
—大阪大学総合学術博物館・大阪歴史博物館連携企画「城下町大坂」展の経験から—
○鳴海邦匡（甲南大学）・大澤研一（大阪歴史博物館）
- 09:30 2M04 インクルーシブデザインからの大学博物館デザイン
○平井康之・三島美佐子・清水麻記（九州大学）
- 09:40 2M05 マチカネワニ化石骨格 3D 展示コンテンツの開発
○豊田二郎（大阪大学総合学術博物館）・岩下智洋（ホワイトラビット）

09:50～10:10 休憩

- 10:10 2M06 展覧会における映像によるドキュメンテーションの活用
—国立民族学博物館におけるトラベリング・ミュージアムの実践—
○久保田徹（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター）・落合雪野（鹿児島大学総合研究博物館）・佐藤優香（国立歴史民俗博物館）・上まりこ（ウエマリコオフィス）
- 10:20 2M07 研究を伝える展示とワークショップの試み
—国立民族学博物館におけるトラベリング・ミュージアムの実践—
○佐藤優香（国立歴史民俗博物館）・久保田徹（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター）・落合雪野（鹿児島大学総合研究博物館）・上まりこ（ウエマリコオフィス）
- 10:30 2M08 大学共同利用機関と大学博物館の協働による展覧会の開催
—国立民族学博物館におけるトラベリング・ミュージアムの実践—
○落合雪野（鹿児島大学総合研究博物館）・佐藤優香（国立歴史民俗博物館）・久保田徹（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター）・上まりこ（ウエマリコオフィス）

【学術】

- 10:40 2M09 岩国市芦山家に所蔵される解剖図 —「玉碎臓図」（東京大学所蔵）との比較
○片岡勝子・安嶋紀昭・船田奇岑（広島大学医学部医学資料館）

10:50～11:10 休憩

【地域・社会連携】

- 11:10 2M10 島根大学周辺におけるフィールド・ミュージアム化の試み
○会下和宏（島根大学ミュージアム）

- 11:20 2M11 視覚しょうがい者向けの常設展示場ガイド：博物館を開かれた場にするみんな
ぱくミュージアムパートナーズの活動
○坂本佳子・○矢野立子（みんなぱくミュージアムパートナーズ）
- 11:30 2M12 スミソニアン自然史博物館との交流
小川知幸（東北大学総合学術博物館）
- 11:40 2M13 各地の博物館と連携した事業
—科博コラボ・ミュージアムの展開—
上野喜代人（国立科学博物館 広報・サービス部）
- 11:50 2M14 食育と連携した科学教室の試み
○宇田津徹朗・植松秀男（宮崎大学農学部附属農業博物館）

12:00～13:30 休憩

- 13:30 2M15 国際・地域貢献としての「壁画の修復と保存」プロジェクト
宮下孝晴・○奥野正幸・奥野麻理子（金沢大学資料館）
- 13:40 2M16 自然史標本のセーフティーネット構築を目指して
松浦啓一（国立科学博物館）
- 13:50 2M17 大学と地域との連携を深めるための博物館づくり
— 香川大学博物館の構想から開館まで—
○寺林 優（香川大学博物館・香川大学工学部）・山本珠美（香川大学生涯学習教育
研究センター）・倉橋伴知（香川大学博物館）
- 14:00 2M18 北大総合博物館 2008年夏の企画展示「分子のかたち展 - サイエンス×アート」
— 展示を通じた人と文化と知のインタークロス—
小俣友輝（北海道大学総合博物館）
- 14:10 2M19 触察で理科を学ぶ教材「サワッテ ミル カイ」の開発
大野照文（京都大学総合博物館）

【マネージメント】

- 14:20 2M20 クロス集計を使ったアンケート解析からみえてくる来館者の傾向
— 北海道大学総合博物館でのケーススタディー—
○小林快次・湯浅万紀子・阿部剛史・小俣友輝・内田智子（北海道大学総合博物館）